

## ヒメタデ *Persicaria erectominor* (Makino) Nakai

### 【評価理由】

個体数階級 4、集団数階級 4、生育環境階級 2、人為圧階級 3、固有性階級 2、総点 15。愛知県では生育地も個体数も極めて少ない。総点は 15 であるが、もともと偶発的に出現するだけの植物であることを考慮し、絶滅危惧 I A類と評価する。

### 【形態】

1 年生草本。茎の下部は地をはって節から根を出し、上部は直立して少数の枝を分け、高さ 20～45cm になる。葉には短い柄があり、葉身は広線形～狭披針形、長さ 3～8cm、先端は鋭頭か鋭尖頭、基部はくさび形か円形、葉質はやや薄く、乾いても緑色である。托葉鞘は筒状、短い縁毛がある。花期は 5～10 月、総状花序は円柱形で直立し、長さ 1.2～2cm、密に花をつける。がくは 5 深裂し、淡紅色または白色で長さ約 2mm、そう果は 3 稜形、黒色で光沢があり、長さ 1.5～2mm である。

### 【分布の概要】

#### 【県内の分布】

尾：38a 長久手 (長湫, 半田多美子 2360, 1997-6-10)、56b 大治 (芹沢 96481, 2018-10-3)。愛知県では長久手で 1 回採集されただけの植物であったが、最近大治に出現した。大治のものは白花である。

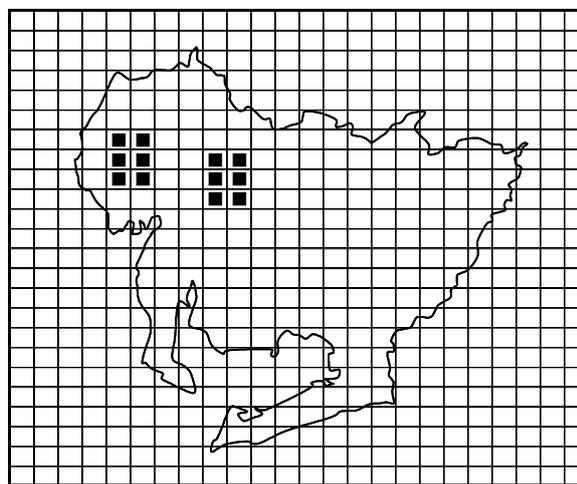
#### 【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州に分布するとされている。

#### 【世界の分布】

日本固有種とされている。

要配慮地区図



### 【生育地の環境／生態的特性】

一般に水湿地に生育するとされているが、実際には攪乱地に生ずる。水湿地型 (アオヒメタデ) は明らかに別の型である。長久手の生育地はやや乾いた空き地であった。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩			○	
湿地				
水域				

### 【現在の生育状況／減少の要因】

長久手では現地を何回か探索したが、再確認できなかった。ところが 2018 年になって、大治町の芹沢の家の庭に、突然 2 株出現した。芹沢は攪乱地型の狭義ヒメタデを採集したことがないので、意図的に持ち込んだものでないことは確かだが、由来は全く不明である。同じような環境の場所はどこにでもあるので、今後も注意して探索する必要がある。

### 【保全上の留意点】

本種のような攪乱地に生じ、しかも希少な植物は、具体的な保全対策が立てにくい。種子等が保存できる施設を整備し、このような植物については保険的措置として、人為的な系統保存を行う必要がある。

### 【特記事項】

生育状況は偶産的だが、もともとそのような植物なので評価の対象に含めた。分類学的に十分検討されていない種類で、今後詳細な研究が必要である。

### 【関連文献】

保草本 II p.312, 平草本 II p.23, 平新版 4 p.98, 環境省 p.392.